

令和3年度研究デザイン 亀山市立昼生小学校

教育大綱 基本方針—1

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研修基本方針

「一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながら
なかまとともに主体的に学ぶために」

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

I. 学校教育目標

「心豊かなたくましい昼生っ子の育成」
～ともに学び、楽しさを実感できる教育の推進～

II. 昼生小学校研究主題

「ともに高めていく子どもの育成」
～ つなげる・広がる話し合い活動を通して ～



研究主題設定の理由

①児童の実態

他学年との交流が多く、児童会などを中心に、学校をより良くする活動を考えたり、それを守ろうとしたりする規範意識の高い児童が多い。同じ集団の中で過ごしてきているため、きちんと正しい言葉でなくても話の内容をくみ取り、そのまま話を進めたり、交友関係が固定化されたりしている。授業においては、ペアやグループ活動は得意だが、全体の場で自分の考えを発表することに苦手意識をもっている児童が多い。そのことから、発言する児童が偏ったり、全体交流の場に参加できずにいる児童がいたりする。さらに、考えはもっているものの、誰かが答えてくれるのを待っている主体性の低い児童や、自分の考えを分かりやすく説明する力がまだまだ弱い児童がいる。そのため児童同士が言葉を補い合いながら、つなげ合う話し合い活動が必要である。

②これまでの取り組み、成果と課題

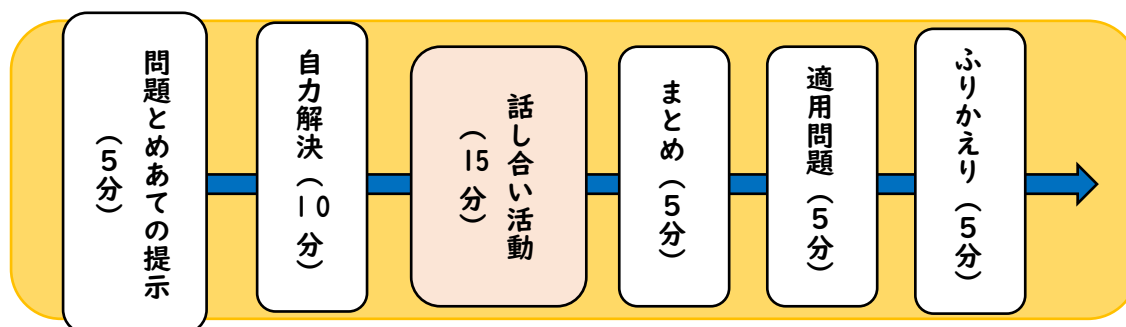
これまで、事前学習を生かした授業の研究を行ってきた。事前学習に取り組むことで、自分の考えに自信をもって授業に臨んでいる児童の姿がみられるようになった。また、なぜそのように考えたのかという理由も、時間をかけて考えてくることで、順序立てて説明しようとする児童の育成につながった。しかし、全体活動の場面で、より活発な話し合い活動を展開するためには、どのような手立てが有効か、また、効果的な教師の出場や出方はどのようなものかという点で課題が残った。

研究主題について

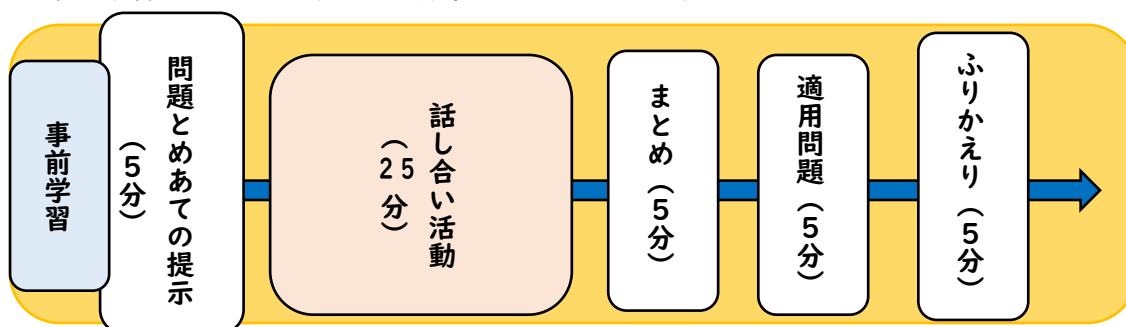
上記のような実態を踏まえ、今年度は、研修主題を「ともに高めていく子どもの育成」と設定し、サブテーマを「つなげる・広がる話し合い活動を通して」として研究を進めることにした。「ともに高めていく子ども」とは、「自ら考え伝え合い、より良い解決に迫る姿」と捉えている。事前学習やタブレット端末の活用により、児童同士がそれぞれの考えを自分の言葉でつなげ、思考が広がっていくような活発な話し合い活動が実現できたら、子どもたちが「ともに高めていく」ことができるのではないかと考えた。授業研究を重ねることで、有効な手立て、効果的な教師の出場や出方について検証し、「ともに高めていく子どもの育成」を目指したい。

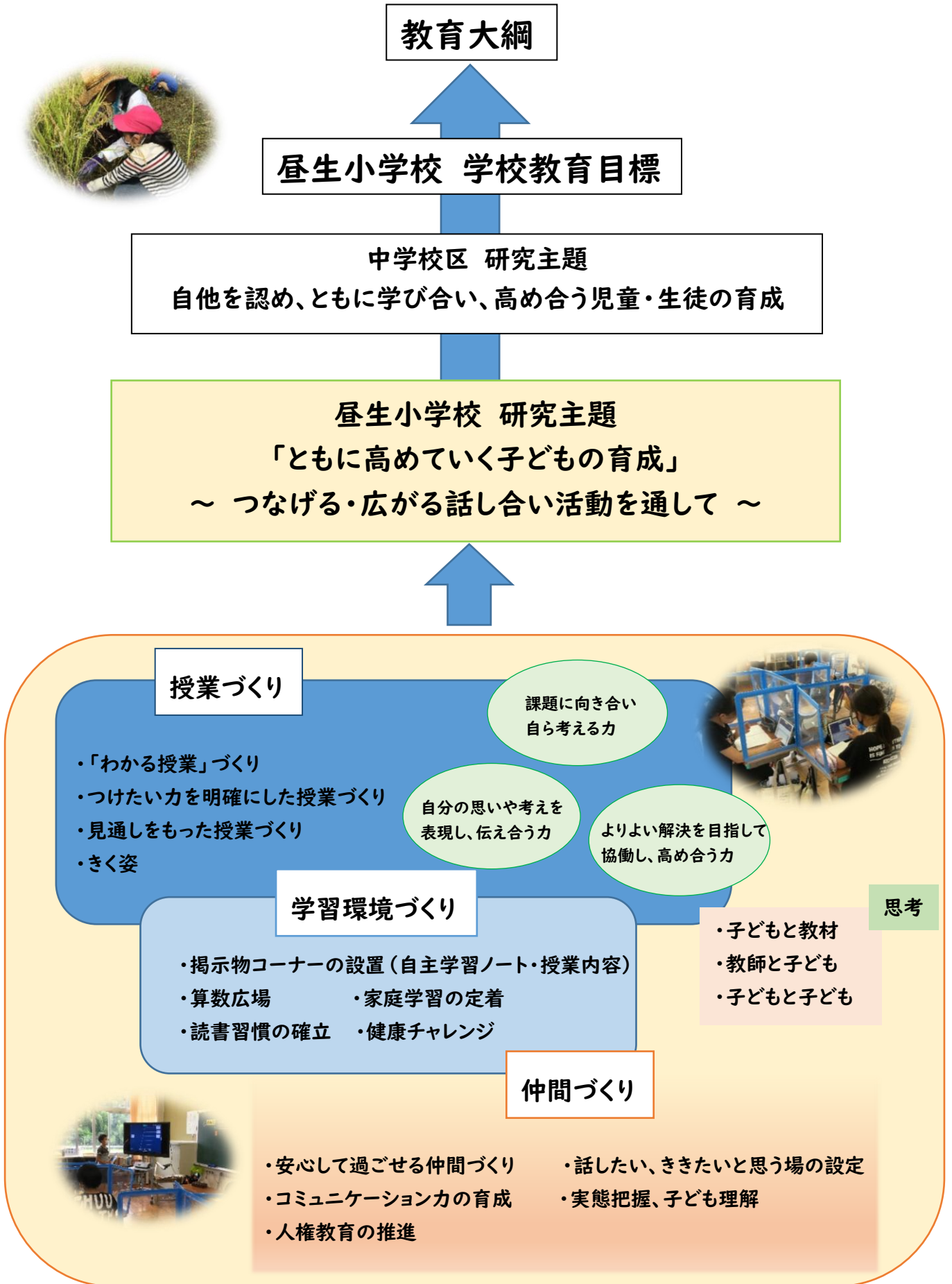
Ⅲ. 研究領域 算数科

Ⅳ. 指導過程



事前学習を活用した場合は、指導の流れが以下の通りになる。





具体的な取り組み

授業づくり

見通しをもった授業計画…MyGoalの活用

1時間の授業構成がわかる板書(めあて、問題、話し合い、まとめの提示)

子どもの学習意欲がわくめあての設定

話し合い(つなげる・広がる)活動の充実

・タブレット端末の活用

・事前学習を活用し一人ひとりが考えをもった状態での学習

The screenshot shows the 'MyGoal' software interface. It includes a header with 'MyGoal', a date range, and a subject. Below the header, there are three numbered steps for lesson planning. Step 1 involves setting the lesson's goal. Step 2 involves identifying learning objectives and activities. Step 3 involves selecting the learning objectives to be used in the lesson. A table at the bottom lists learning objectives (e.g., P16-1 B, P19-2 O) and indicates whether they are used in the lesson.

学習環境づくり

朝の学習(英語・国語・HGT・読書)

補充学習日の設定(水曜日の5限目に実施)

・e ライブラリを活用した既習の定着



家庭学習の充実

・「家庭学習の手引き」を配付し、家庭学習への理解、協力を呼び掛け

・「音読、計算、漢字」と自主学習や作文の導入

自主学習、作文指導の継続

・10チャレ(児童会主体の取り組み。家庭で10分間自主学習に取り組むことで学習の定着を図る)

・自主学習の紹介コーナーの設置と、手本となるノートの紹介

・原稿用紙の正しい書き方の定着、書く力の育成



家庭と連携した健康チャレンジの実施

・生活習慣の確立

・自己管理能力の向上

読書活動

・学校司書及び学校図書館アドバイザーと連携した読書指導

・図書ボランティア及び教職員によるわくわく読み聞かせ

仲間づくり

QU・人権・いじめアンケート、先生と話そう会の実施および学級づくりに活かすための分析・交流

縦割り班活動の充実 支援を要する児童の共通理解 人権学習の実施 教育相談の実施